

・安中市のまちづくりとして、都市計画や商業地の開発、商店街の活性化について

・現本庁舎の活用や解体予定、跡地利用について



清風クラブ
おがわ つよし
小川 剛



詳しい内容は
こちら

選んでもらえるまちづくりを進めれば、若い方が安中に残り、安中生まれの市外で暮らす方にも戻ってきてもえ、移住者も呼び込めます。碓氷川南側エリアの活性化を目指す「安中市碓氷川右岸拠点商業地の整備」では、構想の経緯や現在も渋滞する市道幹123号線の整備計画、今後の予定について聞きました。

また、将来性のある事業とは裏腹に、安中市旧道市街地商店街の疲弊は街の衰退に繋がります。空き家や空き地、空き店舗等の増加が見込まれ、活用に向けた施策や、エネルギー・物価高騰で厳しい経営状況にある商工業者への行政からの支援施策を聞きました。

新庁舎の建設が進み 2026 年の春には完成予定です。現在の本庁舎の利活用については、現在の新庁舎※を文化芸術団体等の方々からシティギャラリー等の施設にして欲しいとの要望が出されています。今後の解体や跡地の使い道の予定、今後の進め方を聞きました。



本庁舎東側の利活用が可能な現在の新庁舎

※現在の庁舎 … 本庁舎の東側の建物で一番新しい庁舎です。2001 年に竣工し建設から 24 年が経過しましたが、耐震性能はある庁舎になります。

・市民に解放された農園について

・市の田畑について

・空き家について

「甘楽ふるさと農園」については都市住民との交流等を深め、かつ地域活性化に資するため国・県の補助事業で設立しました。農園があったら農業を始めたいと思う人がいますので、ぜひ高崎市や前橋市などを参考にして当市でも初めてみては、と質問しました。

市内の農薬を使っていない田畑の情報は無いようですが、小中学校の教科書では農薬を使用していない人や、コウノトリやトキが安定して生息するために農薬を使わない水田の紹介があり、それらの田畑で作られた食物は人間や自然にとって素晴らしい効果をもたらすと思い、質問しました。

また「空家等対策の推進に関する

特別措置法」が施行されて約 10 年になり、一件一件丁寧に、かつスピーディーに扱うことが大切であり、空き家バンク制度もあることを訴えました。



農薬を使っていない畑
(安中子ども食堂)



無所属
さくらい きくえ
櫻井 喜久江



詳しい内容は
こちら